

「西田先生の中学生・高校生時代について教えて
頂けませんか？」

平成 29 年 9 月 5 日

● フランシスコザビエルさんからの質問

西田先生、こんばんは。私は学生なのですが、友人関係で大変悩んでいます。進学の事や学力の事もあるので休む訳には行かない、と自分に言い聞かせています。国政を担っていらっしゃる西田先生にこのような小さな事を相談するのは大変失礼な事だと思うのですが、西田先生の中学生・高校生時代について教えて頂けませんか？

● 西田昌司の答え

学生時代は悩みが付き物ですし、中学生・高校生時代といった思春期は進学についての悩みを抱えて勉強せざるを得ない状況に置かれるわけです。そういった一般的な悩みに加えて、私の場合は「将来、どんな職業に就くか」という目標を決められないという焦りを感じていました。

私の家は大きな養鶏場を営んでいました。親父は、二十歳代半ばで三つの養鶏場を経営する、京都でもひとかどの養鶏家として知られていました。親父は途中で叔父に事業を継がせたのですが、私は養鶏をするつもりはありませんでした。かと言ってサラリーマンになるつもりもなく、将来どんな職業に就こうかといろいろ考えていました。

弁護士・会計士・税理士などの資格をとって自分で事務所でも構えようかと思い、大学入試の際は法学部と経済学部を中心に受けました。その後、滋賀大学の経済学部に入りましたが、税理士が一番簡単そうに思えたので税理士を目指すことにしました。大学時代は税理士試験の勉強を結構真面

目にやりましたし、割と早く税理士事務所を構えることができました。

思春期はそういった進学・就職に関する悩みがありますが、一番の悩みと
言えばやはり恋愛問題でしょう。私は元々恥ずかしがり屋なのですが、好き
な女の子がいるのになかなか想いを伝えられず、普通の会話すら恥ずかしく
てできないという初心^{うぶ}な時代が私にもありました。当時は友達にも相談でき
ずに、一人で悩んでいたものです。今から振り返ると何故想いを伝えられな
かったのかと思いますし、過ぎ去った後には友達に話すこともできました
が、思春期とは恋愛問題が立ちはだかる時期であります。

恋愛問題だけでなく、友人等とのいろいろな人間関係に悩むのが思春期で
すし、後から振り返るとほんの些細なことだったなと思えるとしても、その
時は大変な悩みなのです。悩み抜いた後に悔いのない道を自分で選択するし
かないのですが、そうは言ってもなかなか上手くいかないものです。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>